

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切に、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

市民が集い
5周年祝う

実行委員会が始動

図書館の誕生日は、昭和56年7月7日です。今年で満5歳になろうとしています。

また宇都宮市も明治29年4月1日に市制がひかれ、満90歳になりました。

この5歳と90歳の誕生日を祝おうと、多くの市民が集まってくれました。

4月に相談がもちあがり、4月20日に市立図書館5周年(90周年)記念事業実行委員会が発足いたしました。

実行委員会のメンバーは、次の19団体です。

宇都宮子どもの本連絡会、宇都宮ずいひつの会、宇都宮市立図書館点訳グループ「あけぼの」、宇都宮市立図書館朗読グループ「あけぼの」、宇都宮市読書会連合会、古文書を読む会、宇都宮市青少年団体連絡協議会、西原地区、富士見地区、宮の原地区自治会連合会、栃木県学校図書館協議会、宇都宮市PTA連合会、宇都宮地区幼稚園連合会、宇都宮市民間保育園園

長会、宇都宮市地域婦人会連絡協議会、宇都宮市身体障害者福祉会連合会、映写ボランティアの会、栃木子どもの本連絡会、宇都宮市立図書館。

図書館利用で文化の向上を

この5年間に40万冊以上の本が読まれ、1万人の市民が60以上の講座で何かを学び、10万人以上の市民が利用者として登録しております。

実行委員会では、市民が積極的に図書館を利用し、図書館を育て、機能を充実させ、市民の教育と文化の向上を図るべきだと考えています。市制90周年を記念して、全市民に図書館の果たす役割を知ってもらおう。明日の宇都宮を住みやすく、楽しく文化的なまちにするため、記念事業を行おうといってくれたのです。

話し合いの結果、二つの事業を行うことが決められました。文芸講演会の開催と講演録の発行です。

『渡辺淳一氏の講演決定』

文芸講演会開催は、やはり図書

館でもっとも読まれている人をよんで、話を聴くのがよいとの理由で決定しました。そして、この5年間にもっとも読まれた作家渡辺淳一氏を招くことに決まりました。氏に実行委員会の趣旨を説明したところ、多忙な日程をやりくって承知してくれました。

7月13日(日)午後6時30分から文化会館大ホールと決まりました。できる限り多くの市民に聴いても



渡辺 淳一 氏

らいたいと、200人の大ホールを会場にすることが決められたのです。演題は、「才能について―作家と医師の立場から―」で、約2時間が予定されています。

現在文壇の第一線で活躍している作家を会場いっぱいの市民で歓迎しましょう。

読まぬと損する

講演録の発行

これは、この5年間の60講座の

中から「ためになる」「感動した」「聴き損じた」などの講演内容をまとめて、広く市民に知ってもらおうと発行することになりました。講演録のまとめは、実行委員会構成団体から推薦された15人の編集委員によって行われることになりました。

5月13日第1回の編集会議が開かれ、編集方針と日程、本の形、どの講座を採るか、本のテーマ等について話し合いが行われました。書名は「道をひらく」。2部構成。第1部「子どもに感性を」、第2部「おとなに未来を」とし、第1部は、子どもの本関係の講座、第2部は、ずいひつ講座などを採ることになりました。

第1部では、児童文学者の椋鳩十氏、寺村輝夫氏などの8人、第2部は、木村治美氏、志賀かう子氏、立松和平氏、小田島雄志氏など9人です。採録されない人の話は、ダイジェストの形で紹介することなどが決められました。

講演録は、A5版の2段組みで約200ページになる予定です。

発行は、秋の読書週間を第一目標とし、遅くとも来年3月まで完成させることになりました。どうぞご期待ください。

くわしくは、図書館または各公民館、分館におたずねください。

宇都宮市立図書館 合同発表会 読書関係団体連絡協議会

二月二十五日から二十八日まで

めて合流しました。

の四日間、第一回の宇都宮市立図書館読書関係団体連絡協議会合同発表会が開かれました。この団体は、読書への動機づけや地域における読書活動の普及など、読書推進活動をしているグループ、視力障害者へのボランティア活動をしているグループなど6グループが集って組織しているものです。各グループはそれぞれ活躍し、成果を挙げていますが、よこの連絡、情報交換などを目的にはじ

めました。

なかでも点訳ボランティアグループは「点字教室コーナー」を設け、「簡単な点字を打ってみよう」ということで見学を訪れた人たちの興味をさそっていました。

子ども賞受賞記念講演会 岡田 淳氏

昨年度に選ばれた第2回「うつのみや子ども賞」受賞作品「二分間の冒険」の著者である岡田淳氏を迎え、5月11日(日)に受賞記念講演会を開催しました。

講演に先立ち選定委員の子どもたちから岡田氏に対して表彰状が贈られ、先生も感激なさっていました。続いて子どもたちにも1年間選書にはげんでくれたことに對して感謝状を贈りました。

講演会では、教師としての立場

大きく掲げられた文字の表記例を見ながら、しおりに自分の名前を打っている小学生も多く見られました。また、ずいひつの会の作品



を朗読ボランティアグループが朗読し、テープに吹き込む等、グループ間の協力もなされていました。催し物については、子どもの本連絡会、古文書を読む会が中心となり、人形劇、パネル・シアター、

びだしました。地球が見えますね。だんだん小さくなっていきます。月や太陽が見えます。太陽の周りに金星や土星などが見えます。この星々が集まって太陽系と呼ばれ



るものができています。太陽系のようなものがたくさん集まって銀河系が形成されます。銀河系のよ

古文書の読み聞かせ(宇都宮のむかしばなし)手づくりおもちゃなどをを行い、連日、盛り沢山のプログラムを多くの子どもたちと親が楽しんでおりました。そして、催し物の最後は「パント・マイム」でしめくりました。言葉と演ずることの違いを松井朝子さんの洗練された演技でゆくり見えていた

四日間の日程は無事終了し、初期の目的は達成され、一応の成果をあげることができました。さらに多くの市民の理解が得られるよう、それぞれの目的に向って、また新たな一年の活動をはじめていきます。

うなものがたくさん集まって宇宙があります。では、宇宙より大きなものはなんでしょう。……それは、宇宙を考えている皆さん一人一人の心です。

先生のあたたかさや楽しさを求める気持ちなどが伝わってくる講演会でした。

子どもたちも時には笑い、時にはじつと聞き入っていました。

先生も子どもたちに向けて、わかりやすく、でも、心の中から人間のやさしさをにじませてくれる話し方で大人も楽しめる講演会となりました。

デューボン社からの 寄贈

清原工業団地に工場進出している、デューボン・ジャパン・リミテッドのJ・A・ブランバーク社長から、テクノポリス開発に少しでも役に立てばと、同社の創業二十五周年を記念して、図書六十五冊(百万円相当)が寄贈されました。

これらの図書は、世界中で発行されている文学や雑誌、論文などの内容、著者などを調べるためのもので、いわば図書の索引のようなものです。

図書館では今後、これらの本を三階の調査相談室に配置し、市民からのレファレンスに応えるために活用したいと思っています。

目次

問「もっと勉強できる席をたくさんつくってほしいのです」

答 図書館の閲覧室は学習する部屋ではありません。調査・研究を主にしていたく場所であり、学習は個々にお願いたします。図書館を有効におつかいください。

第1回読書活動推進講座
グリム兄弟
生誕200年記念

日時 6月8日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 宇大教授 橋本 孝先生

場所 市立図書館3階集會室

テーマ グリム兄弟について

定員 120名

申込 5月30日(金)から、電話か直
 接、市立図書館へ

開館5周年記念文芸講演会

日時 7月13日(日)

午後6時30分

開演

場所 文化会館大ホ
 ル

講師 渡辺淳一氏

入場の際には整理券
 が必要です。整理券の配布は、6
 月5日(木)午前9時30分から、市立
 図書館と中部公民館で行いますが、
 資料代200円と引換えにお渡しいた
 しますので、ご注意ください。

ニュース コーナー



田つない地蔵

ぜひご来場し、いっしょにお楽し
 みください。

日時 7月19日(土) 午後3～5時

場所 市立図書館3階集會室

子どもと子どもの 本をつなぐ講座

日時 6月22日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 日本子ども本研究会理事の
 波木井やよい氏

場所 市立図書館3階集會室

テーマ 読み聞かせをしてみまし
 よう —実践編—

定員 120名

受付 6月13日(金)から

その他 読み聞かせの本一冊以上

落語会

第23回落語会を開催します。

この落語会では、「聞く読書」
 として「声の図書」を作成し、目
 の不自由な方々に鑑賞していただ
 きます。寄席の臨場感を出すため、

貸出状況

区分	61年3月	60年度累計 60/4～61/3
登録者数	777人	10,295人
貸出人数	館内	19,951人
	視聴覚	2,047
	館外	1,974
	計	23,972
貸出冊数	館内	67,484冊
	視聴覚	2,230
	館内	8,404
	計	78,118
		927,203

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

2月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	831人		27人	
貸出冊数	2,812冊		115冊	

利用案内

○開館利用

午前9時30分～午後7時
 ただし、児童図書室は
 午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
 国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居

レコード

ビデオ・フィルム

あわせて13点まで

○講座の問い合わせ・申し込み

電話または直接図書館へ

電話 (36) 0231

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
①	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑮	24	25	26	27	28
29	⑰					

7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑩	15	16	17	18	19
20	⑪	22	23	24	25	26
27	⑫	29	30	31		

ボランティア製作

あたらしい本

声の図書
 △樹の声海の声・上(木村あい) △パスカル冥想録、ナット・タナーの告白、性的黙示録(藤田東子) △どくとるマンボウ昆虫記(加古節子) △官僚王国論(佐藤孝子) △最後のメッセージ(石井・山下・吉野) △いばら姫(須藤秀代)

点訳図書

▽湖水祭・下(増山初美) △自殺行き往復キップ(斎藤俊子) △地下室の秘密(増淵清美) △大きな森の小さな家・下(斎藤恵子) △たけむすめ(松田恵子) △しつこのしんちゃんじまんのじいちゃん(渡辺ふみ) △木ぼりのオオカミ(北脇浩美)

寄贈

栃木県文芸家協会時代18・19
 小山市立博物館「小山市史編さん
 の記録」 萩田孝「偉人蒲生君平の
 生涯」 米山和也「中島飛行機会社」
 山本弘子「徒然草」 清水甲子「常
 磐津全集」 諸根一男「法華経大講
 座」 鈴木節子「空とぶ木馬」 豊島
 紀一郎「倫敦暗殺塔」 加藤一郎「
 城砦」 小椋教順「奇蹟の人」 大根
 田功一「新心理学」 ほか多数